

福祉サービス第三者評価結果

事業所名 社会福祉法人 誠心福祉協会 おとぎ保育園

訪問調査日：平成29年1月24日 9時30分～16時00分

平成29年3月22日



特定非営利活動法人
介護の会まつなみ 評価事業部

特定非営利活動法人 介護の会まつなみ 評価結果

1 事業所基本事項

フリガナ	シャカイワケシホウジン セインワケシキョウカイ	ホギホイクエン
事業所名 (正式名称を記載)	社会福祉法人 誠心福祉協会	おとぎ保育園
事業所住所 最寄駅	〒252-1123 綾瀬市早川3067-5 小田急・相鉄・JR線 海老名駅下車 バス 10分・徒歩 3分	
事業所電話番号	0467-76-3841	
事業所FAX番号	0467-76-3842	
事業所代表者名	役職名 園長	氏名 森下 美玖江
法人名及び 法人代表者名	法人名 社会福祉法人 誠心福祉協会	法人代表者氏名 理事長 関原 史人
URL	http://otogi.hoikuen.ac/	
e-mail	otogi@cc.wakuwaku.com	
問合せ対応時間	特になし	

事業所の概要 1

開設年月日	昭和54年 4月 1日
定員数	150名 (平成29年1月24日現在 0歳児23名・1歳児23名・ 2歳児29名・3歳児28名・4歳児31名, 5歳児29名)
都市計画法上の用途地域	市街化調整区域
建物構造	鉄筋コンクリート造り 2階建て
面積	敷地面積 (1,350.26) m ² 延床面積 (1075.99) m ²

事業所の概要 2 (職員の概要)

総職員数	38名
うち、次の職種に該当する職員数	園長 (1名) 主任保育士 (2名) 保育士 (常勤14名・非常勤13名) 管理栄養士 (1名) 調理員 (3名) 看護師 (常勤1名・非常勤1名) 事務主任 (1名) 事務員 (1名)

事業所の概要 3 (受入・利用可能サービスの概要)

受入年齢	生後3ヶ月～小学校就学未満	
延長保育の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	備考:
休日保育の実施	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/>	備考:
一時保育の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	備考: 月～土 8:30～17:00 0～2歳児 8時間 2,800円 3～5歳児 8時間 2,400円
障害児保育の実施	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	備考: 現在重度1名 自閉症等3名
病後児保育の実施	有 ・ <input checked="" type="checkbox"/>	備考:

保育の方針

法人	— 地域に根ざした施設づくり
園	— 素直な笑顔のこぼれる子

2 評価項目に基づく評価の結果

大項目1 保育環境の整備 (評価機関が定めた評価項目に添って、調査を行なった結果です)

評価領域	第三者評価 コメント
人権への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・保育目標は「素直な笑顔のこぼれる子」です。保育園では一人ひとりを大切に「共育ち」(※4)の保育が行われています。 ※4 共に育ち合うの意。 ・個性や家庭環境の異なる状況下にある利用者が夫々大切に受け入れられていて保護者は安心して子供を預けている。 ・自然に恵まれた環境の下で地域住民の暖かい交流・協力を受け、園児を中心に保護者と保育士が共に協力し合っている。 ・体験実習生・見学者には園の様子や見学時の心得(守秘義務)に付いて園長が説明を行っている。 ・人権教育について『子どもの感性を通した「人権保育」の視座』に記載のあることに取り組んでいる。 ・保育士が1年に2度行う自己評価チェックリストにも、子供の人権・差別禁止が明記してある。
利用者の意思・可能性を尊重した自立生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・園児が自他を大切に、健康で生き生きとした保育園生活を過ごすため家庭との情報交換は不可欠です。入園時の個別面談で保護者の療育への考えと園への意向等を聞いて児童票・指導計画を作成している。保護者への連絡には園だより、クラスだより、給食だより、保健だより、連絡ノート(年齢別対応ノート)を通して行い、年一度の参観日・懇談会・その他夏まつり、発表会、運動会、遠足で保護者との意思疎通をはかっている。 ・園児には豊かな自然を生かした園外保育(散歩)で心身の発達を促し、園内では統合保育(登園時～9:30)とクラス別保育(9:30～16:00)を行い、落ち着いた環境の下で成長に合わせた保育を行っている。 ・600冊の蔵書に加え市からの届く図書が玄関ホールなど身近に置かれていて、常に読書に親しんでいて、降園時ホールで読書を楽しむ親子もいる。 ・月一度は災害に備え(身を守る)避難訓練を行っている。 ・5才児は正課の中で毎週 茶道、書道、剣道、手話・体操指導(5～3才児)、リトミックは(5～2才児)月に一度を取り入れて、心身を鍛練すると共に日本の心(礼儀・作法)を学んでいる。(剣道は全員8級取得が目標) ・年に2度の健診、1度の歯科検診 毎月の身体測定。体力作り・食育への配慮などで心身ともに元気に園生活が実施されている。 ・園外活動として5才児は年2回 2泊3日(夏は石川県で海水浴。冬は長野県で雪遊び)、4才児は1泊2日(26年は園に宿泊)の合宿保育を行い、体験による社会性や自立を育くんでいる。 ・民生委員との交流の味噌作りでは大豆の種まきから収穫・味噌作りの過程で学んでいる。
サービスマネジメントシステムの確立	<ul style="list-style-type: none"> ・園内外の環境整備・安全管理については、研修をした職員を配置して、健康管理マニュアル(保育室温度・湿度、1階テラス温度)、危険物マニュアル(消毒物・洗剤管理)、室内環境管理マニュアル(おもちゃ・砂場・布団の消毒)、防災マニュアル(災害、不審者対策)により行っている。 ・苦情(意見)への対応は苦情解決マニュアルを玄関掲示板に掲示している。保護者には4月1日付書類で第三者委員の案内をしている。受付担当・解決責任・第三者委員を明示し、受付・解決済みの「苦情(意見)受け付け書」はファイル保管してあった。 ・第三者委員は時々訪園していることを「第三者委員訪園日記録」で確認した。 ・感染症の流行・発生(子どもの病気についてのマニュアル)時は掲示板に掲示し、都度 園だより・保健だよりを発行して、情報の提供とまん延防止

	<p>に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・給食の食材はなるべく地産物を使用し、天然だしを使用している。宗教食で肉不使用。アレルギー食など細やかな配慮がされている。 ・災害から身を守るための避難訓練は月に一度行い、消防署等との連絡方法や訓練についての見直しが行われている。 ・時代の要請で預かる園児数が増え、増築したりして施設の使い方にも工夫、努力をしている。 ・津久井やまゆり園の事件後はどこの施設も出入り口のガードが堅くなりました。安全を守るための工夫がされています。 玄関ホール左側のガラス張りの厨房の中で、園児の食を守って働いている職員の活気ある姿を見ました。事務室も「見える化」が進むと心理的な防犯対策になっている。(必要な時はカーテン使用が可能です。) ・保護者、保育士さんの子どもの成育を伝え合う連絡ノートの重責と記入者の努力を感じました。
<p>地域との連携・交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の未就学児親子を対象とした子育て支援事業「おとぎ広場」(原則毎月曜日 10:00~12:00 保育園内)は民生委員の協力で実施している。希望児童には給食(1食200円)を提供、同時に保護者の相談受付活動も行っている。毎月おとぎ広場だよりを発行し、親子遠足も行っている。 ・市内の子育て事業、相談事業、要保護児童サポート会議、青少年育成事業、体験学習生受け入れ、高齢者施設訪問・ご招待、夏まつり、発表会、運動会散歩途上のご挨拶・会話などで地域との方との交流を行っている。 ・5才児は地域の民生委員の指導を受け、大豆の種まきから育成・収穫味噌作りまでを行っている。 ・災害時には地域の避難所として防災倉庫の設置がされている。 ・東日本大災害地岩手県の日台保育園(わかき保育園改名)との交流が続いていて、日台保育園からさまざまの手作りの手紙他が届けられている。
<p>運営上の透明性の確保と継続性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・園の紹介(理念・方針)は玄関の掲示板に掲示、他にパンフレット、園だより、おとぎ広場だより、ホームページで行っている。 ・保育園での園児の様子を見て貰うため保護者参観日、懇談会、展覧会、運動会などの行事を実施している。希望する保護者の面談も受付けている。 ・個別指導計画は保育士・看護師・栄養士が加わり必要に応じて見直しを行っている。 ・保護者、保育士さんの子どもの成育を伝え合う連絡ノートの重責と記入者の努力を感じました。
<p>職員の資質向上促進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保育課程や園のしおり【保育理念や方針】は年度当初の職員会議や研修会で都度取り上げ周知を行っている。 ・職員マニュアル(心得等)は事務所・休憩室に掲示して、いつでも見られるようにしてある。 ・月一度職員会議・研修会を行い、不参加者には担当主任がその内容を伝えている。 ・外部研修は計画を立て参加、研修参加者は研修内容を職員会議で報告し、情報の共有を図ると共に、研修報告書は事務所、休憩室に保管し、何時でも閲覧できるようになっている。 ・保育士はミニ連絡ノート、ヒヤリハットノートの記入、再読することで連絡・内容確認し常に情報の共有に努めている。 ・保育士も保護者も共に育ち合う事を目指している。 ・外部からの講師との交流で職員が技術習得など努力している。 ・「職員の数が多くなりましたので保育士に名札を付けて貰いたい」と保護者の要望がありましたので玄関ホールに名前入りの職員の写真(第三者委員も)を提示すること等を期待いたします。 ・職員は年2回「保育士自己点検・自己評価のためのチェックリスト」に記入し、見直し改善を行い、園長の指導を受けている。

大項目2 保育内容の充実(事業所から自己申告された内容について、事実確認を行なった結果です)

項目	事業所による取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもと保育士とのかかわりにおいて、子どもの情緒の安定をはかることや、順調な発育・発達を促すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 地域の老人との関わりを大切にしている。同法人施設『ケアハウス長寿』在園者との交流では、4歳児・5歳児が年間数回の交流を持ち、社会とのかかわりにおいて人の役に立つことの喜びを感じられるような気持ちを育む。「敬老会」では地域の老人をお招きして、会場へのご案内や出し物等で園児が(5歳児が中心になり)直接関わる。</p> <p>② 地域民生委員の方と、日常の園生活の中でも多くの関わりを持つ。平成17年より行っている、『味噌作り』では、大豆蒔き～味噌作りまでの一貫や、その他様々な行事を通しての関わりも大切に深めている。</p> <p>③ 岩手県「日台きずな保育園」との交流を持つ。同園は、2011年の東北沖地震で被災し被害も大きく現在借り園舎で保育を行っている。2012年8月に、本園では、理事長・園長・保育士5名、5歳児16名で同園との交流と支援を目的に岩手県まで行った。その後も交流を続けながら、社会との関わりにおいて、人の気持ちに気づいたり人の役に立つこととは何かを考えていけるような育みを大切にしている。</p>	<p>① 年間指導計画「園のしおり」及びホームページに園外保育・合宿保育、全園児の親子遠足が計画されている事を確認した。また「平成28年度年間行事予定」に遠足についての記載があり、たより「おとぎひろば」にも遠足についてのお知らせがされている事を確認した。</p> <p>② 茶道・剣道・書道・手話等を実施している事を「年間指導計画」で確認した。剣道は級審査を受け、8級を取得する事が目標になっている事を「年間指導計画」で確認した。体操指導(水)3～5才児。リトミック指導(月に一度 金)2～5才児。週一度(月)英語指導4～5才各専門講師を招き実施していることを「年間指導計画」で確認した。実施されていることを保育日誌・写真で確認した。</p> <p>③ 5歳児は野菜作り・味噌作りなどの体験保育も行なっている事を保育日誌、写真、ホームページ等で確認した。また「平成28年度大豆作りから味噌作りまでの年間計画」に民生委員との交流について明示してある事を確認した。</p>
<p>子ども同士のかかわりにおいて、個の違いを認めあうことや他者と自分を大切にすることを育てるためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 月/5月の生活目標では、挨拶することを園だよりの中でも記載し、言葉のやり取りを楽しみながら正しく使っていけるような取り組みを行っている。</p> <p>② 本園では、2012年に本園園長の作詞による「おとぎ保育園園歌」ができた。また、園歌の歌詞を「なかよしのうた」と変え、岩手県の「わかき保育園」との交流にも大切に用いている。その他各保育室内で、歌の歌詞などを掲示して、豊かな言葉の育みに取り組んでいる。</p> <p>③ 5歳児の英語レッスンを通して言葉のやり取りや言葉の変化を楽しめるようにしている。5歳児の英語は2012年10月より行っている</p>	<p>① 「28年度年間行事予定」に誕生会の記載がある事を確認した。誕生会の様子を写真で確認した。</p> <p>② リトミック、体育指導が実施されていることを年間指導計画・写真等で確認した。</p> <p>③ 「園のしおり」に統合保育で「共育ち」について明示してある事を確認した。</p>

<p>子どもと社会とのかかわりにおいて、人に役立つことの喜びを感じたり、人と関わることの楽しさを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 600冊以上の園文庫の設置により多くの絵本の提供を行い、家庭でも親子で絵本に親しんでもらえるようにしている。言葉の豊かな発達に結びつけることも大切なねらいとする。</p> <p>② 絵本の中のストーリーに入り込み想像を膨らませて、ごっこ遊びや、見立て遊びなどにつなげていく楽しさを育んでいる。</p> <p>③ 5歳児・4歳児は合宿保育での経験などを自分自身の言葉で伝えること、表現することを喜んで行えるように援助する。</p>	<p>① ホームページや「園のしおり」「年間行事予定」などで同法人施設『ケアハウス長寿』在園者との交流や地域高齢者を招待しての敬老の集いを実施している事を確認した。その様子を写真で確認した。</p> <p>② 「園のしおり」の地域育児センターを民生委員の協力を得て実施している事を確認した。</p> <p>③ 岩手県・日台きずな保育園との交流を手紙や写真のやりとりで確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、言葉のやりとりを楽しめるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① トミックや体育指導等で外部の各専門講師により、発達を促しながら、楽しんで表現できるような取り組みを行っている。</p> <p>② 運動会や発表会において、演技や遊戯、歌などを発表する機会を大切に、のびのびと表現することや自身を持って取り組んでいけるようにつなげている。</p> <p>③ 『味噌作り』において、大豆の成長を子どもたちが絵や文章で表現し写真と共に記録に残す。成長を見たまま感じたままに表現し自分たちで育てていることに実感を持ち喜びも感じ取る気持ちを大切に育む。</p>	<p>① 4・5月の園だよりに生活目標「挨拶をする」の記載を確認した。</p> <p>② 園長作詞の園歌の額が玄関ホールにあり、折々に歌われていると説明があった。</p> <p>③ 4,5才児用の英語のカリキュラムを確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、話すこと・聞くことが楽しめることや言葉の感覚が豊かになること、自分の伝えたいことが相手に伝わる喜びを味わうことができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 遊戯や合奏・合唱等での表現を楽しむ機会を持つ。その成果を発表会で自発的に表現してお互いにその成果を喜びあえるような取り組みを行っている。</p> <p>② 展覧会では毎年テーマを持ちながら、各年齢の発達に応じた粘土製作に取り組み、想像的に表現する気持ちを育むように取り組んでいる。</p> <p>③ 5歳児は書道のお稽古を通して表現することの喜びを感じられるように取り組んでいる。(毎年1月の鏡開きには5歳児が書初めと茶道のお点前を披露する。保護者も参加して、一年間の成果を発表する機会となっている。)</p>	<p>① 玄関ホール・保育室 園児の身近に絵本が整備され置かれていることを確認した。</p> <p>② 訪問日も保育士が読む一冊の本を真剣に見・聞き入る園児たちの姿が見られた。</p> <p>③ 合宿帰路の保育日誌に子ども達の楽しかった様子が記されている。</p>

<p>生活や遊びなどを通して、楽しんで表現することができるようにすることや表現したい気持ちを育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① リトミックを通して集中力を高めたり、五感のを活発にするように取り組んでいる。(リトミック指導は週1回、2～5歳児対象)</p> <p>② 5歳児は合宿保育を通して、夏の海水浴、冬の雪遊び等を経験し、身体を動かすことの楽しさを味わう(※合宿保育については11-①に詳しく)</p>	<p>① 体操指導(水) 3～5歳児。リトミック指導(月に一度 金) 2～5歳児。週一度(月) 英語指導4～5歳児 各専門講師を招き実施していることを「年間指導計画」・講師提出のカリキュラム、写真で確認した。</p> <p>② 運動会や発表会が「園のしおり」「年間行事予定」等に記載され、実施されている事を確認した。</p> <p>③ 「平成28年度大豆作りから味噌作りまでの年間計画」に「民生委員との交流について明示してある事を確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、自発的に表現する意欲を育むことやみんなで一緒に表現する喜びを味わえるようにすること、創造的に表現することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 園ではひつじ・うさぎを飼育している。動物の飼育に興味や関心を持ち、5歳児は当番活動を通して責任感が育つような援助を行う。また、動物の飼育を通して、命の大切さも子ども自身が感じとったり、考えていけるような援助を行っている。</p> <p>② 本園は豊かな自然環境の中にあり、園外散歩にもたくさん出る機会を設けている。四季折々の様子を周囲の草花や虫等から気付いたり、興味や関心を高め、広げていけるような援助を大切にしている。</p> <p>③ 散歩で地域の人々と挨拶を交わしたり応答を楽しむ。</p>	<p>① 発表会が「園のしおり」「年間行事予定」等に記載され、実施されている事を確認した。</p> <p>② 粘土細工に取り組んでいる事は「園のしおり」・写真等で確認した。</p> <p>③ 茶道・剣道・書道等の実施している事を「年間指導計画」で確認した。</p>
<p>生活や遊びなどを通して、聞く・見るなど感覚の働きを豊かにすることや身体を動かす楽しさを味わうこと、身近なものに対する興味や関心を引き出すためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 食に関する絵本の読み聞かせや紙芝居を演じながら、自分から食べようとする意欲や意識が持てるような援助を行っている。3・4・5歳児は、バイキングなど、異年齢での関わりを持ちながら、食事を楽しむ。</p> <p>② 各クラスの月案及び個人の目標等に沿って、適切な排せつ指導を行っている。また、食べた物がどのようにして栄養になって行くのかも、絵本やお話の中から学んでいけるようにしている。</p> <p>③ 5歳児はクッキングで実際に調理を経験して、食に関する興味関心を引き出せるようにする。また、4・5歳児はグリンピースの皮むき等も経験する。クッキングの献立は「カレーライス」で、野菜の皮むきから出来上がるまでの一貫を職員(担任と管理栄養士をリーダーとして)と一緒に経験する。</p>	<p>① リトミックは2歳児20分、3歳児30分、4歳児40分、5歳児40分をホールで身体を十分に動かしている。</p> <p>② 「年間指導計画」「園のしおり」及びホームページに合宿保育が計画・実施されている事を確認した。</p> <p>③ 身体を動かし、野菜作りを体験、その変化、成長、収穫を楽しんでいる。</p>

<p>生活や遊びなどを通して、身近な様々なものに対する探索意欲を満足させることや社会や自然の事象や、動植物への興味や関心をもてるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 5歳児は剣道・書道・茶道の各お稽古により、豊かな心身の育みを大切にし、心身の鍛錬にも繋がるようにしている。 5歳児のお稽古…書道（火曜日）茶道は（水曜日）・剣道は（木曜日）体育指導（水曜日）は3～5歳児リトミック（月1回金曜日） 2～5歳児</p> <p>② 4歳児・5歳児の合宿保育を通して友達同士の関わりを深め、お互いの気持ちに気付いたり、助け合う気持ちを育む。また合宿保育のプログラムの中でも様々な経験ができるように計画されている。（海水浴・雪遊び等も経験できる）</p> <p>③ 地域民生委員の方との様々な交流を通して、関わりを深めている。</p>	<p>① ひつじ・うさぎの飼育に5歳児が当番活動をしていることを確認した。</p> <p>② 園外散歩の記録（保育日誌等）・写真を確認した。訪問日も4才児が散歩に出かける場面を見た。</p>
<p>自分から食べようとする意欲を育んだり、排泄をしようとする意欲を育むためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 地域の老人との関わりを大切にしている。 同法人施設『ケアハウス長寿』在園者との交流では、4歳児・5歳児が年間数回の交流を持ち、社会とのかかわりにおいて人の役に立つことの喜びを感じられるような気持ちを育む。「敬老会」では地域の老人をお招きして、会場へのご案内や出し物等で園児が（5歳児が中心になり）直接関わる。</p> <p>② 地域民生委員の方と、日常の園生活の中でも多くの関わりを持つ。平成17年より行っている、『味噌作り』では、大豆蒔き～味噌作りまでの一貫や、その他様々な行事を通しての関わりも大切に深めている。</p> <p>③ 岩手県「日台きずな保育園」との交流を持つ。同園は、2011年の東北沖地震で被災し被害も大きく現在借り園舎で保育を行っている。2012年8月に、本園では、理事長・園長・保育士5名、5歳児16名で同園との交流と支援を目的に岩手県まで行った。その後も交流を続けながら、社会との関わりにおいて、人の気持ちに気づいたり人の役に立つこととは何かを考えていけるような育みを大切にしている。</p>	<p>① 給食だより及び写真でバイキングが実施されていることを確認した。食育の中で楽しく食べる事が大切と捉えている。</p> <p>② 年間指導計画に排泄指導が記載されていることを確認した。」</p> <p>③ 5歳児のクッキングが実施されていることを給食だよりで確認した。グリーンピースをむき、ニンジンを掘り終えた、満足そうな園児の写真があった。</p>

<p>身の回りのことを自分でしようとする意欲を育むことや基本的な生活習慣を身につけること、食事や休息の大切さを理解することができるようにするためにどのような取り組みをしていますか</p>	<p>① 4月/5月の生活目標では、挨拶することを園だよりの中でも記載し、言葉のやり取りを楽しみながら正しく使っていけるような取り組みを行っている。</p> <p>② 本園では、2012年に本園園長の作詞による「おとぎ保育園園歌」ができた。また、園歌の歌詞を「なかよしのうた」と変え、岩手県の「わかき保育園」との交流にも大切に用いている。その他各保育室内で、歌の歌詞などを掲示して、豊かな言葉の育みに取り組んでいる。</p> <p>③ 5歳児の英語レッスンを通して言葉のやり取りや言葉の変化を楽しめるようにしている。5歳児の英語は2012年10月より行っている。</p>	<p>① 道・剣道・書道等を実施している事を「年間指導計画」で確認した。剣道は級審査を受け、8級を取得する事が目標になっている事を「年間指導計画」で確認した。</p> <p>体操指導(水) 3～5才児、リトミック指導(月に一回 金) 2～5才、英語指導(週一度) 4～5才。手話(月) 3～5児。各専門講師を招き実施していることを「年間指導計画」・写真で確認した。</p> <p>② 保育日誌で合宿プログラムの実施状態を確認した。</p> <p>③ 種まきから味噌作りまでの過程で17名の民生委員の方には年間を通して指導を受けている。</p>
---	---	---

大項目3 保育園の特徴（事業所から自己申告された内容について、事実確認を行なった結果です）

項目	事業所による特徴的取り組みのアピール (事業所が記載した原文のまま公表しています)	第三者評価での確認点
<p>子どもの豊かな心と身体をはぐくむための特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>① 5歳児は剣道・書道・茶道の各お稽古により、豊かな心身の育みを大切にし、心身の鍛錬にも繋がるようにしている。</p> <p>5歳児のお稽古…書道(火曜日) 茶道は(水曜日)・剣道は(木曜日) 体育指導(水曜日)は3～5歳児リトミック(月1回金曜日) 2～5歳児</p> <p>② 4歳児・5歳児の合宿保育を通して友達同士の関わりを深め、お互いの気持ちに気付いたり、助け合う気持ちを育む。また合宿保育のプログラムの中でも様々な経験ができるように計画されている。(海水浴・雪遊び等も経験できる)</p> <p>③ 地域民生委員さんとの様々な交流を通して、関わりを深めている。</p>	<p>① 剣道・書道等を実施している事を「年間指導計画」で確認した。剣道は級審査を受け、8級を取得する事が目標になっている事を「年間指導計画」で確認した。</p> <p>体操指導(水) 3～5才児、リトミック指導(月に一回 金) 2～5才、英語指導(週一度) 4～5才。各専門講師を招き実施していることを「年間指導計画」・写真で確認した。</p> <p>② 「年間指導計画」「園のしおり」及びホームページに園外保育・合宿保育、全園児の親子遠足が計画されている事を確認した。</p> <p>③ 「平成28年度大豆作りから味噌作りまでの年間計画」に「民生委員との交流について」明示してある事を確認した。</p>
<p>保育環境に特別な配慮を必要とする子ども(長時間保育、障害児保育、乳児保育、外国籍園児)の保育に関しての特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>① 統合保育を行い、障害児の受け入れもして共に育つことを大切にしている。(5歳児クラスに1名入所)</p> <p>② 外国籍児の宗教食対応も行い国籍に差別のないよう平等な保育を行っている。</p> <p>③ 乳児保育については一人ひとりの発達に応じた生活リズムを整えながら適切な援助を行う。乳児室には常に看護師が配置されている。</p>	<p>① 「園のしおり」に統合保育で「共育ち」について明示してある事を確認した。</p> <p>② 外国籍児の宗教食対応も行っている事を確認した。</p> <p>③ 乳児担当職員は10名。現在10カ月の乳児から25名が在籍している。日差しの良い明るい乳児室で支援が行われていた。看護師さん、個別指導計画書を確認した。</p>

<p>健康管理に特別な配慮を必要とする子ども(アレルギー疾患をもつ園児、乳児保育、病後時保育など)の保育に関しての特徴的な取り組み(アレルギー一食対応、個別食、離乳食など)について説明してください。</p>	<p>① 家庭との連携を図り、個別にアレルギー食の対応を行う。医師からの指示書に従い、安全かつ慎重に対応する。厨房職員と保育士が伝達を密にして取り組んでいる。</p> <p>② 離乳食も個々の発達に応じて献立表を用いて丁寧に進めていくことで、スムーズな離乳に向けていくようにしている。</p> <p>③ 園児の急病時には看護師と職員との連携により安静の確保と保護者への連絡等の適切な対応を行っている。</p>	<p>① アレルギー児の医師からの指示書を確認した。</p> <p>② 離乳食個別表を確認した。</p> <p>③ は「子どもの病気について」及び看護記録で看護師と職員との連携により安静の確保と保護者への連絡等の適切な対応を行っていることを確認した。</p>
<p>食に関する特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>① 大豆の育成から収穫、味噌作りまでの一貫の取り組みを地域民生委員さんと一緒に行い、食育にも繋げている。大豆畑から収穫、大豆こぎ、味噌仕込みをすべて経験する。その後1年かけて出来上がったお味噌で、11月頃に「みそパーティー」を行っている。このみそパーティーには卒園児が招待される。(前年度の5歳児対象)</p> <p>② 野菜の育成から収穫、園の給食材料として身近な所での経験を大切にしている。</p> <p>③ 給食のだしは、全て天然だしを使用している。化学調味料は使用せず、昆布・鰹節・煮干しから取っている。</p>	<p>① 豆の種まき、育成から収穫、味噌作りまでの一貫の取り組みを地域民生委員さんと一緒に行い、食育にも繋げていることを確認した。</p> <p>② 野菜の育成から収穫、園の給食材料として身近な所での経験を大切にしていることを確認した。</p> <p>③給食のだしは、全て天然だしを使用している。化学調味料は使用せず、昆布・鰹節・煮干しから取っていることを確認した。</p>
<p>家庭とのコミュニケーションに関する特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>① 5歳児は行事参加やお稽古も多く、家庭への伝達や園での状況をより詳しく伝えられるように、クラスだよりを作成して掲示を行っている。その他、各クラスでも随時クラスだよりを発行して生活の様子を保護者に伝えている。</p> <p>② 父母の会の活動も各クラスからの役員を中心に活発に行われている。また保護者と園長との懇親会も実地している。</p> <p>③ 第三者評価のアンケート調査にも協力をいただいた。</p>	<p>① 5歳児は行事参加やお稽古ごと(利用者負担なし)も多く、家庭への伝達や園での状況をより詳しく伝えられるように、クラスだよりを作成して配布・掲示を行っている。その他、各クラスでも随時クラスだよりを発行して生活の様子を保護者に伝えていることを確認した。</p> <p>② 父母の会の活動も各クラスからの役員を中心に活発に行われている。また保護者と園長との懇親会・父母会総会も実施されていることを確認した。</p> <p>③ 第三者評価のアンケート調査にも協力をいただいたことは確認した。</p>

<p>地域の子育て支援に関する特徴的な取り組みについて説明してください。</p>	<p>① 子育て支援・相談を随時受け付けている。園長が直接対応して、適切な支援を行っている。</p> <p>② 本園では地域関わり事業を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域育児センターでは「おとぎひろば」と称して地域の民生委員・主任児童委員の方々の協力を得て毎週月曜日に実施している。希望があれば一食200円で給食を食べることができる。 ・学童保育クラブは放課後児童健全育成事業として2010年よりスタートし、専任指導員を配置する。夏休みなど学校の長期休業日は全日預かり保育をする。 ・一時保育事業では一時的に家庭での保育が困難となる乳幼児を対象に預かる。様々な事情がある中で一時保育の望ましいあり方について検討している。 <p>③ 綾瀬市全体での「子育て広場」に参加する。例年6月に開催し市内の親子約500名が参加する。</p>	<p>① 地域育児センターでは「おとぎひろば」と称して地域の民生委員・主任児童委員の協力を得て毎週月曜日に実施している。</p> <p>② 希望者は一食200円で給食を食べていること、保護者の相談に対応していることなどをおとぎ園日誌で確認した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学童保育クラブは放課後児童健全育成事業として2010年よりスタートし、専任指導員を配置する。夏休みなど学校の長期休業日は全日預かり保育をしていることを保育日誌で確認した。最多24名。 ・一時保育事業では一時的に家庭での保育が困難となる乳幼児を対象に預かる事業を実施していることを園のしおりで確認した。職員2名。利用定員8名。訪問当日は6名幼児が過ごしていた。 <p>③ 綾瀬市全体での「子育て広場」に協力団体として参加していることをチラシ等で確認した。</p>
--	---	---

3 第三者評価のまとめ

○事業所のサービスの質的向上への努力が見られる点、優れている点

- ◇保育正課に手話を取り入れ、音の無い世界の理解（聞こえない、話せない）に園児を誘い、今後の地域社会の聴覚障害者・児との遊び・ふれあい（意思疎通）まで考慮して居る。
- ◇一時保育事業の保育室が日当たりのよい場所に移動した。
- ◇学童保育室が独立棟になり、以前より活動しやすくなった。
- ◇自主事業で休日保育事業が始まり、休日出勤体制の保護者の支援になっている。

○事業所の特徴、独自に取り組んでいる点

- ◇当園は開園（S 5 4 年 4 月 1 日）以来 3 8 年が経過。その間多くの卒園性を輩出し、既に卒園性の子ども達が利用しています。当法人の目標どおり「地域に根ざした施設」です。
- ◇人格形成にもっとも大切な乳児期の保育を担う保育所として保育課程の中に特に茶道・書道・剣道・手話・英語・体操・リトミックを取り入れ、心身の発達や規律ある態度を身に付け 自主的な活動と社会性を育てています。
上記は特に希望児のみが行うので無く正課の中で等しく行われている。（お稽古ごとの費用は特に徴収していない）
- ◇自然環境に恵まれた立地条件の下で、散歩、野菜作り、地域療育センター（おとぎ広場）、一時保育事業、諸行事を通して地域の方々と交流を行っている。
- ◇特に味噌づくりでは地域民生委員 1 7 名さんの御協力により大豆の種まきから収穫・味噌づくりまでを体験している。
- ◇お泊り保育 5 才児は 1 年に 2 度 2 泊 3 日（夏は石川県 海水浴、冬は長野雪遊び）
4 才児は 1 泊 2 日（2 6 年度は保育園内に合宿）。親元から離れ貴重な体験を行っている。
- ◇給食 心身の健康維持・増進を重視し管理栄養士を中心に看護師・保育士が食育計画を作成している。目標は「楽しく食べる元気な子」です。 食材はなるべく地場産、調味料は天然だしを使用。手造りおやつ、バイキング、カレー作りを楽しむ。宗教食、アレルギー児への配慮がある。
- ◇手話 2 6 年度のお稽古ごとに手話が加わる。園児達が聞こえない・話せない聴覚障害者を理解する活動の始まりです。
- ◇休日保育事業（自主事業）2 6 年度開始。カレンダーの休日通りに休めない保護者のための支援です。利用者に喜ばれています。

○事業所の課題となる点

- ◇保育士の動線などに無理は無いか、安全・安心に付いての工夫見直し。
- ◇連絡ノートと日々の園の個人記録とが同時に記入できる記録方式の検討。
- ◇運営上必要なマニュアルの再度見直し（点検時刻の記入が役立つ時も有ります）。